

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 1月 日

事業所名:あんじゅとよさと

区分	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		3	4	ハーデーションを使い、静と動の部屋を分けている。興味分け、ルールを決められている。	人数に対して狭い。個室、プライベート空間がない。	建物内で場所(空き部屋)を借りるか、幼稚園の別館を定期的に借りるか
	2 職員の配置数は適切であるか	1	1	5	マンツーマン体制が必要と思われるときは、対応が出来るように配置している。	個別対応が必要な子どもが多くなってきた。多様性を保障する為にも関わる職員をストックすることが必要	送迎でも利用者を理解したスタッフが良い。曜日によって厳しい。
業務改善	3 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7			1日の始まり、終わりにミーティングを必ず行っている。また、休みの方にも伝えるように振り返るようにしている。		事務所内では提案できているが、上層部に伝わり理解してもらえていないか不明慮、指示待ち状態でよいのか、具体的に個々に聞き取りをしていくべきではないか
	4 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7			会報誌の発行を始める。情報の発信と共に、ご利用者様のご意向を聞く機会を増やす。		今まで殆ど取り組めていない。
	5 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	2	3	2		HPリニューアルにつき、今後スタッフにも周知していく。	全然更新されていない。ミストラルとVIVANTの両方にあるが・・・
	6 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	2	4			
	7 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	1			スタッフの意見を聞き入れてもらいながらあんじゅとしての方向性を明確にしていく時期が来ているように思う	全体ミーティングがあり、大切な時間となっている。コロナ禍で少ないが外部研修などに参加。Webも活用している。
適切な 支援の 提供	8 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			ミーティングでの細かい情報が生かされている。	保護者様のご意向を普段から聞く機会を増やせば、もっと良い計画が立てられる。	
	9 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7				担当スタッフが作成し、更新を行っている。	使いこなせていない。
	10 活動プログラムの立案をチームで行っているか	7			その日のメンバーにより考案して出来ている。意見を出し合い、決められている。	能力、学年、年齢差、障がいなどの違いに配慮、工夫していくのが難しくなっている。	
	11 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	1		日々工夫し体を動かす、指先使ったり等工夫されている		
	12 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	2		季節の行事や月で取り組みを決めて行っている	一日の流れは明確であるが、長期休みの支援について考えていくべきではないか	努力はしているが、まだまだ改善の余地はある。流れを考えてメリハリをつけていこうにすれば良いのでは？
	13 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7				個別になりがちな子どもへの支援、次につなげていく事が課題	
	14 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			日々ミーティングをしているので今後も確認していく必要あり		
	15 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7				当事業所が大切にしている時間で、必ず行っている。	
	16 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			記録、書式等を変更したり見直したりして簡素化している	記録の在り方、検証している	
	17 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7				開設当初より継続して出来ている。	管理者が行っている。
18 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	2				意識して行っているようにしている。全スタッフに説明出来ていない。もっと理解を深める必要がある。	

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
関係機関や 保護者との 連携	19 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7			視野が狭くならないように、担当する現場スタッフと共に参加することを増やしている。		
	20 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4	2	1	保護者様からの情報やインターネットなどでも確認している。	送迎時に行っているが一人ひとりについて時間をかけて情報共有できる場があればいいと思う	学期に1回子どもの様子を共有するために連絡会を計画し実施することで情報共有に繋がるのではないかと
	21 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	3		あんじゅだよりを定期的に作成・配布していくことで、その時に情報共有している	色々な場所で情報共有できれば就学後の支援につながると思う	管理者が行っている。回数は少なく、不十分。
	22 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか		3	4		前例がない中で、今後の課題。中学生になる子どもが増えてきて今後について考えていく必要がある	事例が無い。
	23 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	4		Zoomを使って相模原あんじゅと研修を行っている。		コロナ禍で少ない、行いにくい、機会を設けて行った。
	24 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			7		コロナ禍の影響で出来ていない。近隣の小学校のグラウンド等借用し関係者同士の話し合いをして進めて行ければよいと思う	無い。出来ればと思っているが、ここの年はコロナもあり、行いにくい。
	25 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	3	2			
	26 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	1		送迎時に伝えたり、連絡帳に書かれていることで共通理解を持つように努力している。	個々に送迎時に1日の様子だけでなく情報共有する日時などの相談もしている。	送迎時に話をして関係づくりや情報共有を行っているが、出来ているところとそうでないところがある。
27 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		4	3		具体的な専門的なことはしていない。今後の課題	保護者に対する支援が行われているか自分自身からしない。関係を築きたいと思っている。	
保護者への 説明責任等	28 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	2		最初に丁寧に言うようにしている。	変更時などは書面での報告を行っている。	
	29 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	3			送迎時に寄り添いながら、お話をしている	送迎時など時間が有る時には話をさせてもらっている。が助言や支援になっているか分からない。保護者のニーズが放デイの事と違うことも有る。当社からそのような機会を向けて向かい合っていく必要性を感じる。
	30 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			7		コロナ禍でできていない、学期に1回程度、話し合いを持ち各自連れて帰ってもらうのはどうか	コロナ禍によりできていない。今後行っていけるように対策を考え機会を増やすべき。親の会の活動がない事で保護者の不安材料になっていないか？
	31 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	4		連絡をすぐに行うようにしている。	上層部、代表が不在で近くいない為、判断待ち、状況が伝わりにくい等迅速な対応が出来にくい	コロナ感染、怪我等緊急事態があった時会社に相談すると上層部(代表が)近くいない現地での状況が伝わらない
	32 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7				不定期的であるが会報を発行、写真等も入り、日々の様子がわかって保護者様にも喜ばれている	
	33 個人情報に十分注意しているか	7					
	34 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7				難かしいが必要不可欠なことで今後も努力配慮をしていく	
	35 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	1	1	近隣の地域資源の利用は出来ている。	PCR検査を行った上でクリスマス会で腹話術等お世話になった。	事業所内(デイなど)ではリモートを使って行っているが、地域との関りが殆ど無い。豊里の文化祭、豊里小の展示会に参加(名前を伏せて)してはどうか

区分	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
非常時等の 対応	36 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	3			警報時などの規定が曖昧。周知はしているが改善が必要と考える	曖昧になっている部分が多い。緊急時の判断対応に時間がかかっている。
	37 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7				火災発生時の訓練を行った。定期的にとの子ども訓練が出来る日に設定してはどうか。	定期的に行っていきたい。単発的に行っている。
	38 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	1		外部研修の内容を全スタッフへ再度研修という形で行う。		外部の研修にも参加したい。コロナ禍で難しい。
	39 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	4			前例は無いが、対応の仕方が拘束にならないか話し合いをして、日頃から気を付けている。	事例が無いが、対応の仕方が拘束にならないか話し合いをして、日頃から気を付けている。
	40 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	2		利用開始前に必ず確認している。	指示書はないが、保護者、相談員から詳しい状況を聞いている	日常のおやつ、誕生会等で対応している(脂質制限)
	41 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7			日頃の話し合いの中や書類で情報共有している。	その都度、書面に記入している	